

令和4年

救急救助統計



香川県ドクターヘリ 令和4年4月運航開始

高松市消防局

目 次

救 急 編

1 救急概要	2
2 救急出場件数及び搬送人員	3
3 事故種別出場件数及び搬送人員の状況	4
4 年齢区分別搬送人員の状況	5
5 事故種別月別及び曜日別出場件数の状況	6
6 覚知時刻別出場件数	7
7 医療機関別搬送人員	7
8 傷病程度別搬送人員の状況	8
9 現場到着所要時間別出場件数の状況	9
10 収容所要時間別搬送人員の状況	9
11 署所別救急活動の状況	10
12 救急隊員の行った応急処置件数	11
13 救急艇出場の状況	12
14 受託町救急活動の状況	13
15 応急手当普及啓発活動の状況	13

救 助 編

1 救助概要	15
2 救助出場件数及び救助人員等	16
3 事故種別救助活動の状況	16
4 署所別救助活動の状況	17
5 月別救助活動の状況	18
6 曜日別救助出場件数	19
7 時間別救助出場件数	19
8 発生場所別救助出場件数	20
9 発生場所別救助人員	20

救 急 編

1 救急概要

令和4年中の出場件数は、25,263件で搬送人員は、21,828人となっており、前年と比較すると出場件数が3,101件の増加、搬送人員は1,568人の増加となった。

これは、1日平均69件、20分48秒に1件の割合で救急車が出場したことになり、1年間で住民18.7人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

救急業務は、住民の安心・安全を確保する上で不可欠な行政として浸透しているが、中には緊急性のないものもあり、重傷者への対応の遅れが懸念され、救急車の適正利用について今以上に取組まなければならない。

現在、急速に進展している高齢化社会への対応、そして疾病構造の複雑な変化等により救急業務の内容は高度かつ専門化の一途をたどり、より一層の救急医療体制の充実、整備を図る必要性がある。

[令和4年中]

◎ 出場件数	25,263件
◎ 搬送人員	21,828人
○ 1日あたりの平均出場件数	69件
○ 救急車出場頻度	20分48秒
○ 1台あたりの平均出場件数	1,805件
○ 出場件数の多い月	12月 2663件
○ 出場件数の少ない月	2月 1825件
○ 出場件数の多い曜日	金曜日 3,806件
○ 出場件数の少ない曜日	日曜日 3,347件
○ 出場件数の多い時間帯	10時～12時 3,323件
○ 出場件数の少ない時間帯	2時～4時 838件
○ 救急車利用率	住民18.7人に1人
○ 平均現場到着所要時間	10分42秒
○ 平均収容所要時間	41分05秒

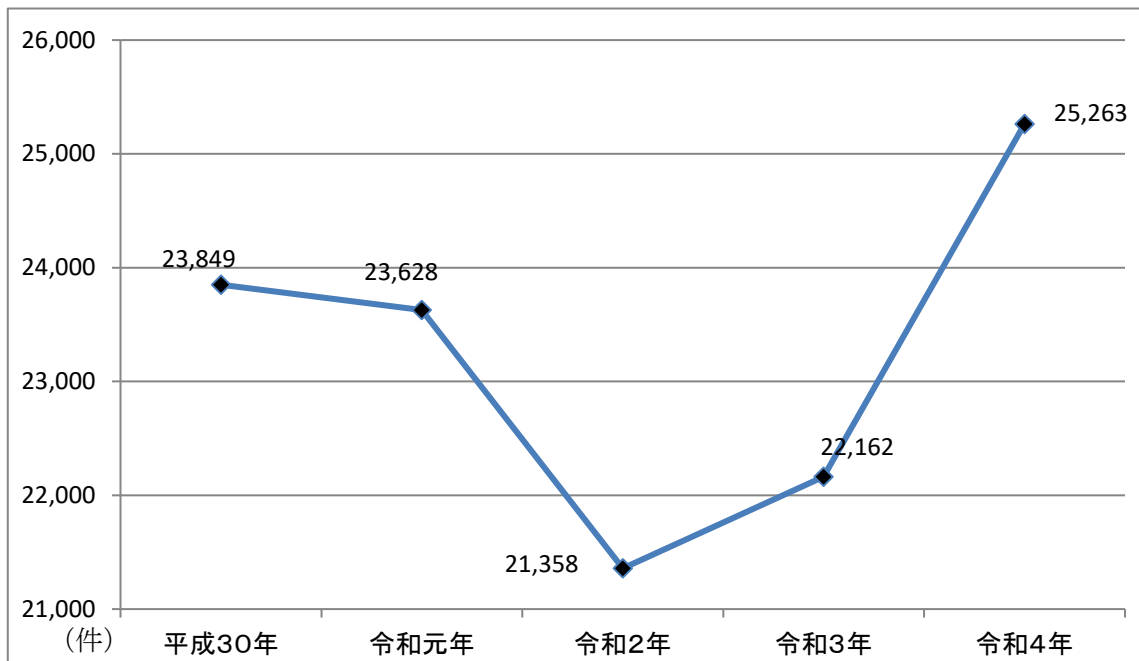
※参考(令和3年)

全国出場件数	6,196,069件
香川県出場件数	44,880件

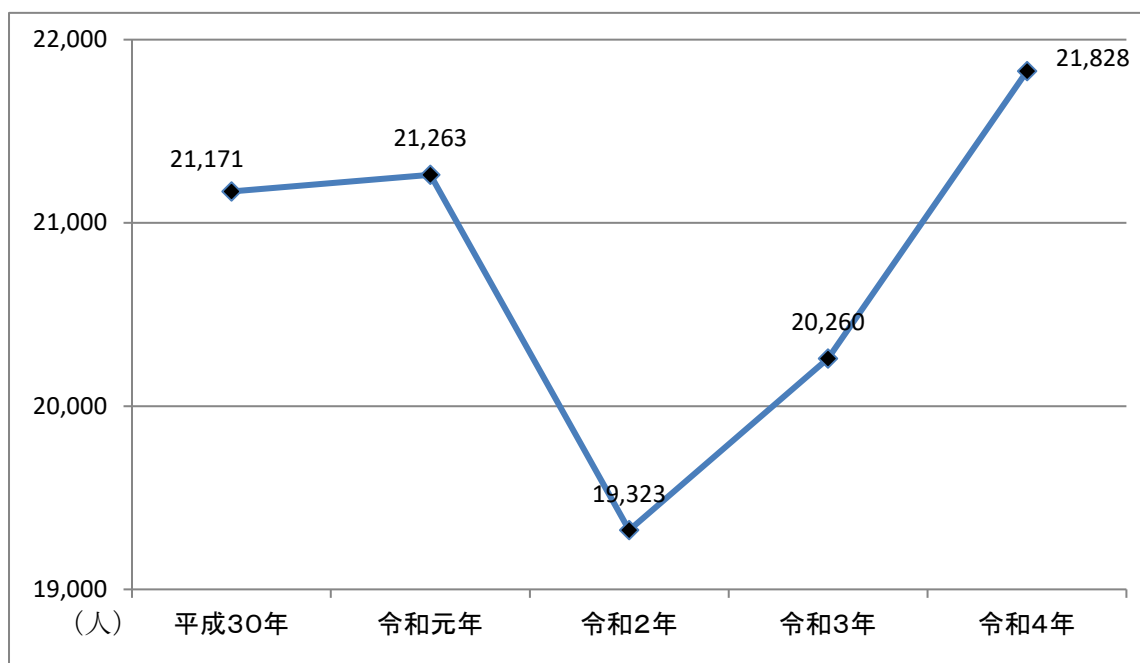
2 救急出場件数及び搬送人員

令和4年中の救急活動状況は出場件数が25,263件、搬送人員が21,828人であった。
過去5年間の推移は第1図、第2図のとおりである。

第1図 出場件数の推移



第2図 搬送人員の推移



3 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

救急車による出場件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出場件数は、第1位が急病(15,995件、63.3%)、第2位が一般負傷(3,962件、15.7%)、第3位が転院搬送(2,835件、11.2%)の順となっている。(第3表参照)

搬送人員は、第1位が急病(13,431人、61.5%)、第2位が一般負傷(3,511人、16.1%)、第3位がその他(2,829人、13.0%)の順となっている。(第4表参照)

第3表 事故種別出場件数

事故種別	令和3年		令和4年		対前年比		
	出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数(件)	増減率(%)	
火災	108	0.5	113	0.4	5	4.6	
自然災害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
水難	6	0.0	19	0.1	13	216.7	
交通事故	1,620	7.3	1,699	6.7	79	4.9	
労働災害	140	0.6	130	0.5	▲10	▲7.1	
運動競技	110	0.5	181	0.7	71	64.5	
一般負傷	3,515	15.9	3,962	15.7	447	12.7	
加害	52	0.2	63	0.2	11	21.2	
自損行為	152	0.7	197	0.8	45	29.6	
急病	13,519	61.0	15,995	63.3	2,476	18.3	
その他	転院搬送	2,856	12.9	2,835	11.2	▲21	▲0.7
	医師搬送	3	0.0	10	0.0	7	233.3
	資器材搬送	13	0.1	2	0.0	▲11	▲84.6
	その他	68	0.3	57	0.2	▲11	▲16.2
合計	22,162	100	25,263	100	3,101	14.0	

※ ▲印は減少

第4表 事故種別搬送人員

事故種別	令和3年		令和4年		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
火災	19	0.1	24	0.1	5	26.3
自然災害	0	0.0	0	0.0	0	0.0
水難	5	0.0	14	0.1	9	180.0
交通事故	1,497	7.4	1,520	7.0	23	1.5
労働災害	158	0.8	136	0.6	▲22	▲13.9
運動競技	110	0.5	179	0.8	69	62.7
一般負傷	3,238	16.0	3,511	16.1	273	8.4
加害	41	0.2	43	0.2	2	4.9
自損行為	113	0.6	141	0.6	28	24.8
急病	12,222	60.3	13,431	61.5	1,209	9.9
その他	2,857	14.1	2,829	13.0	▲28	▲1.0
合計	20,260	100	21,828	100	1,568	7.7

※ ▲印は減少

4 年齢区分別搬送人員の状況

事故種別ごとの年齢区分別搬送人員の状況は、急病は高齢者(8,766人、65.3%)、交通事故は成人(843人、55.5%)、一般負傷は高齢者(2,641人、75.2%)が高い割合で搬送されている。

(第5表、第6図参照)

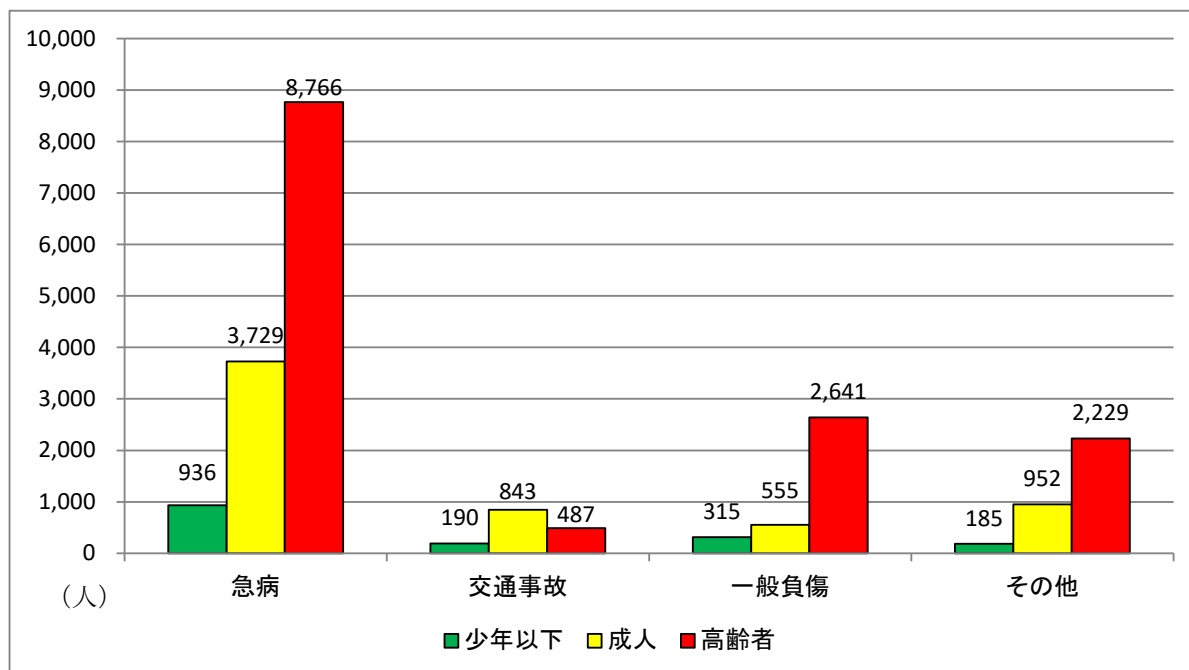
第5表 年齢区分別搬送人員状況

区分 年齢区分	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		合計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
新生児	4	0.0	0	0.0	0	0.0	13	0.4	17	0.1
乳幼児	571	4.3	38	2.5	216	6.2	42	1.2	867	4.0
少年	361	2.7	152	10.0	99	2.8	130	3.9	742	3.4
成人	3,729	27.8	843	55.5	555	15.8	952	28.3	6,079	27.8
高齢者	8,766	65.3	487	32.0	2,641	75.2	2,229	66.2	14,123	64.7
合計	13,431	100	1,520	100	3,511	100	3,366	100	21,828	100

※年齢区分は次による

- (1)新生児 生後28日未満の者
- (2)乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- (3)少年 満7歳以上満18歳未満の者
- (4)成人 満18歳以上満65歳未満の者
- (5)高齢者 満65歳以上の者

第6図 年齢区分別搬送人員状況



5 事故種別月別及び曜日別出場件数の状況

事故種別ごとに月別の救急出場件数をみると、急病は8月、交通事故は11月、一般負傷は12月が多くなっている。(第7表参照)

第7表 事故種別月別出場件数状況

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
1月	1,272	8.0	120	7.1	328	8.3	307	8.5	248	8.7	2,027	8.0
2月	1,126	7.0	111	6.5	295	7.4	293	8.1	249	8.8	1,825	7.2
3月	1,163	7.3	119	7.0	317	8.0	308	8.5	251	8.9	1,907	7.6
4月	1,151	7.2	126	7.4	303	7.6	281	7.8	214	7.5	1,861	7.4
5月	1,282	8.0	157	9.2	307	7.7	298	8.3	228	8.0	2,044	8.1
6月	1,234	7.7	152	8.9	302	7.6	290	8.0	217	7.7	1,978	7.8
7月	1,510	9.4	153	9.0	300	7.6	326	9.0	251	8.9	2,289	9.1
8月	1,756	11.0	144	8.5	329	8.3	283	7.8	205	7.2	2,512	9.9
9月	1,324	8.3	121	7.1	316	8.0	283	7.8	230	8.1	2,044	8.1
10月	1,205	7.5	165	9.7	378	9.5	318	8.8	248	8.7	2,066	8.2
11月	1,264	7.9	167	9.8	325	8.2	291	8.1	233	8.2	2,047	8.1
12月	1,708	10.7	164	9.7	462	11.7	329	9.1	261	9.2	2,663	10.5
合計	15,995	100	1,699	100	3,962	100	3,607	100	2,835	100	25,263	100

事故種別ごとに曜日別の救急出動件数をみると、急病は金曜日、交通事故は土曜日、一般負傷は木曜日が多くなっている。(第8表参照)

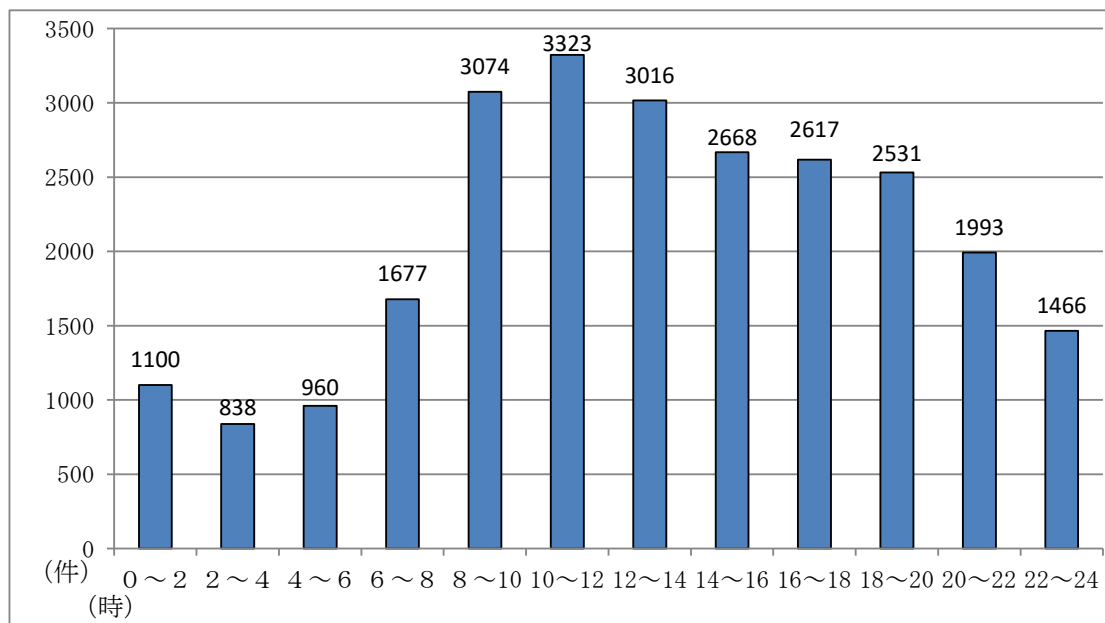
第8表 事故種別曜日別出場件数状況

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
月曜	2,333	14.6	256	15.1	563	14.2	625	17.3	505	17.8	3,777	15.0
火曜	2,191	13.7	235	13.8	528	13.3	555	15.4	450	15.9	3,509	13.9
水曜	2,176	13.6	231	13.6	543	13.7	560	15.5	471	16.6	3,510	13.9
木曜	2,324	14.5	256	15.1	600	15.1	513	14.2	411	14.5	3,693	14.6
金曜	2,367	14.8	247	14.5	545	13.8	647	17.9	540	19.0	3,806	15.1
土曜	2,309	14.4	273	16.1	587	14.8	452	12.5	324	11.4	3,621	14.3
日曜	2,295	14.3	201	11.8	596	15.0	255	7.1	134	4.7	3,347	13.2
合計	15,995	100	1,699	100	3,962	100	3,607	100	2,835	100	25,263	100

6 覚知時刻別出場件数

出場状況を時間別にみると、午前6時頃から上昇を示し、午前8時から時間経過とともに増加し正午までにはピークに達し、18時から深夜にかけて徐々に減少し午前2時から午前4時頃までが最低となっている。(第9図参照)

第9図 覚知時刻別出場件数



7 医療機関別搬送人員

令和4年中における救急車による搬送人員21,828人について、医療機関等への搬送人員の状況を示している。(第10表参照)

第10表 医療機関別搬送人員

		告示	うち管外	非告示	うち管外	合計(人)	うち管外
医療機関	国立	1,570	145	0	0	1,570	145
	公立	6,485	290	117	5	6,602	295
	公的	6,708	1	0	0	6,708	1
	私的病院	5,877	398	301	18	6,178	416
	私的診療所	299	0	470	3	769	3
その他の場所		0	0	1	0	1	0
合計(人)		20,939	834	889	26	21,828	860

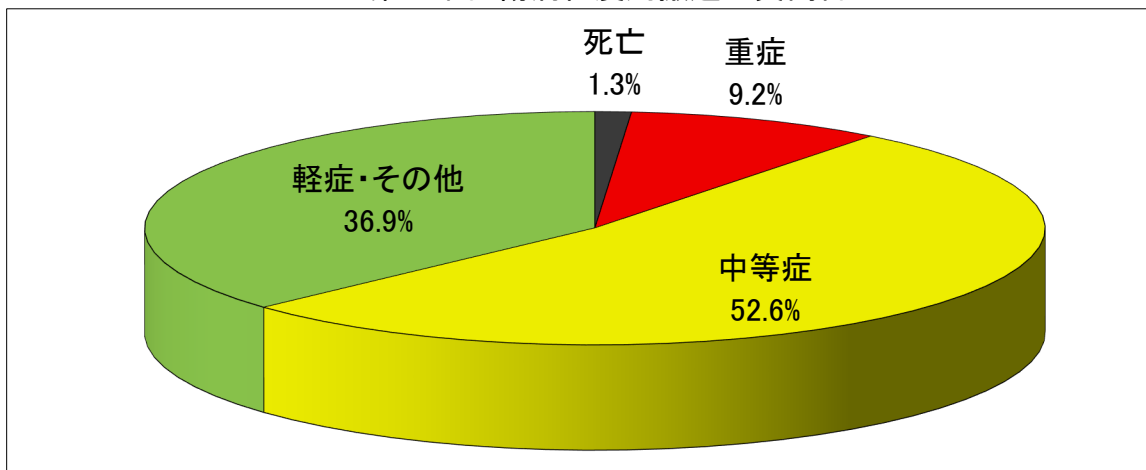
※ 医療機関の分類は次による

- (1) 「国立」とは開設者が国であるもの。
- (2) 「公立」とは開設者が都道府県、市町村及び地方自治体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは開設者が普通国民健康組合、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生医療農業共同組合連合会であるもの。

8 傷病程度別搬送人員の状況

医療機関に搬送した傷病患者21,828人を傷病程度別にみると、死亡が284人(1.3%)、重症が2,013人(9.2%)、中等症が11,480人(52.6%)、軽症及びその他が8,051人(36.9%)となっている(第11図参照)

第11図 傷病程度別搬送人員割合



※傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

- (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
- (2) 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
- (3) 中等症とは、傷病程度が重症以下及び軽症以上のものをいう。
- (4) 軽症は傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- (5) その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないものをいう。

傷病程度を年齢区分別にみると、高齢者は中等症割合が高く、若年層ほど軽症割合が高くなっている。(第12表参照)

第12表 年齢区分別傷病程度状況

	少年以下		成人		高齢者		合計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
重症・死亡	21	1.3	401	6.6	1,875	13.3	2,297	10.5
中等症	472	29.0	2,595	42.7	8,413	59.6	11,480	52.6
軽症・その他	1,133	69.7	3,083	50.7	3,835	27.2	8,051	36.9
合計	1,626	100	6,079	100	14,123	100	21,828	100

9 現場到着所要時間別出場件数の状況

令和4年中の救急自動車による救急出場件数25,263件について、現場到着所要時間別(救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間)の救急出場の状況を示した。これによると最も多いのが10分以上20分未満の12,621件で全体の50.0%である。(第13表参照)

第13表 現場到着所要時間別出動件数の状況

項目	現場到着所要時間						合計	平均
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上			
出場件数	143	404	11,535	12,621	560	25,263	10分42秒	
構成比(%)	0.6	1.6	45.7	50.0	2.2	100		

10 収容所要時間別搬送人員の状況

令和4年中の救急自動車による搬送人員21,828人について、収容所要時間別(救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間)の搬送人員の状況を示した。これによると最も多いのが30分以上60分未満の14,774人で全体の67.7%である。(第14表参照)

第14表 収容所要時間別搬送人員の状況

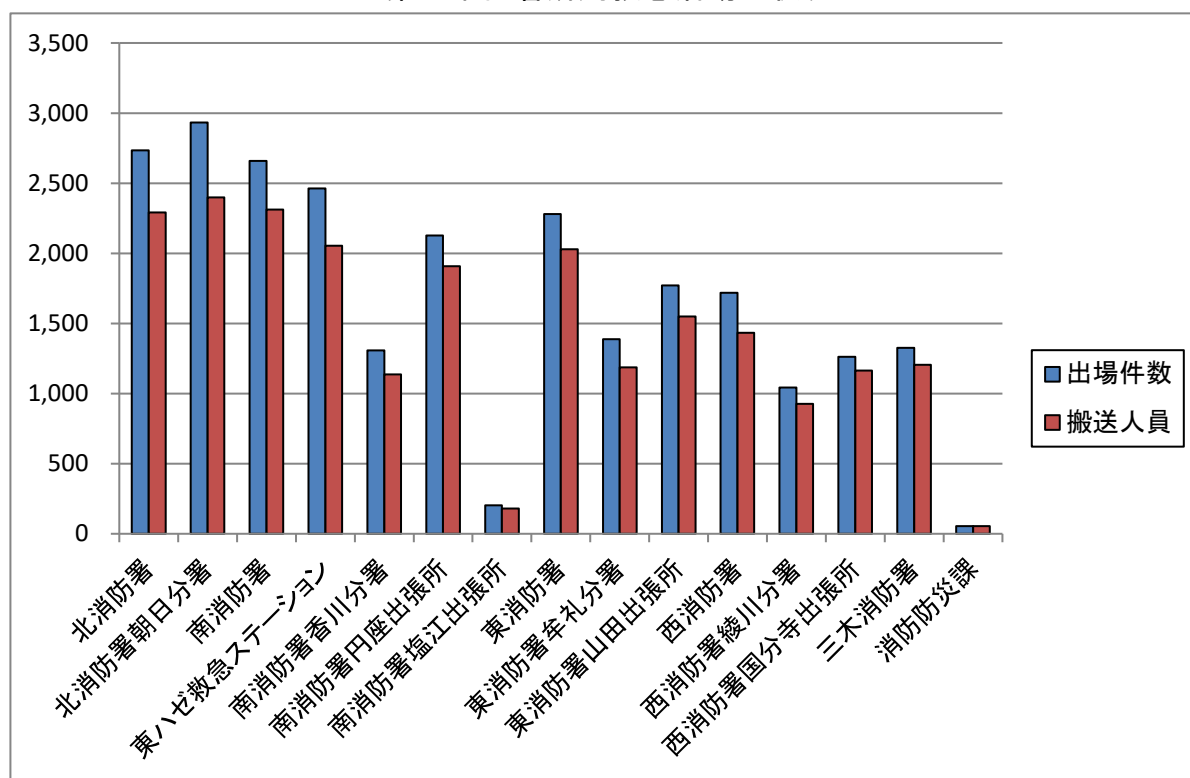
要 間	収容所 時					合計	平均
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
搬送人数	4	351	4,145	14,774	2,554	21,828	41分05秒
構成比(%)	0.0	1.6	19.0	67.7	11.7	100	

11 署所別救急活動の状況

第15表 署所別救急活動の状況

救急車配置署所	出場件数	搬送人員
北消防署	2,735	2,291
北消防署朝日分署	2,933	2,398
南消防署	2,658	2,312
東ハゼ救急ステーション	2,462	2,053
南消防署香川分署	1,307	1,137
南消防署円座出張所	2,126	1,907
南消防署塩江出張所	202	180
東消防署	2,279	2,030
東消防署牟礼分署	1,387	1,187
東消防署山田出張所	1,770	1,550
西消防署	1,719	1,433
西消防署綾川分署	1,044	927
西消防署国分寺出張所	1,261	1,163
三木消防署	1,326	1,205
消防防災課	54	55
合計	25,263	21,828

第16図 署所別救急活動の状況



12 救急隊員の行った応急処置件数

現場到着から医師に引き継ぐまでの間に症状の悪化防止や苦痛軽減のために、救急隊員が傷病者に対して行った応急処置の件数は第17表のとおりである。

第17表 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計	
応急処置等対象搬送人員	13,423	1,518	3,507	3,353	21,801	
応急処置等項目	止血	38	56	207	45	346
	固定	101	529	605	190	1,425
	人工呼吸	29	2	5	6	42
	胸骨圧迫※1	1	0	0	0	1
	心肺蘇生※2	376	11	47	43	477
	酸素吸入	3,002	107	232	906	4,247
	気道確保	528	17	56	76	677
	うち経鼻エアウェイ	16	1	3	4	24
	うち喉頭鏡、鉗子等	5	0	3	0	8
	うちラリngeアルマスク等	27	1	2	4	34
	うち気管挿管	82	1	17	9	109
	血圧測定	12,706	1,468	3,327	3,202	20,703
	心音・呼吸音の聴取	4,490	424	718	718	6,350
	血中酸素飽和度測定	12,997	1,483	3,399	3,274	21,153
	心電図	9,241	468	1,214	1,665	12,588
	保温	1,433	111	351	353	2,248
	被覆	39	215	617	98	969
	在宅療法継続	172	0	8	53	233
	ショックパンツ	0	0	0	0	0
	除細動	26	0	3	1	30
静脈路確保	164	8	18	12	202	
うちCPA前	60	6	6	4	76	
うちCPA後	104	2	12	8	126	
薬剤投与	70	2	10	4	86	
血糖測定	244	1	6	1	252	
ブドウ糖投与	30	0	0	0	30	
その他の処置	10,538	1,223	2,715	2,518	16,994	
合計	56,225	6,125	13,538	13,165	89,053	

※1、※2自動心臓マッサージ器を含む

(備考)

- (1) 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の項目の合計は一致しない。
- (2) 除細動とは、心臓が痙攣したように細かく震え血液を拍出できなくなる致死的不整脈に電気ショックを与え、その震えを取り除く処置の事をいう。
- (3) 静脈路確保とは、静脈内に輸液路を確保する処置である。静脈路を確保することで、薬剤などを必要時、直ちに静脈内へ投与することが可能になる。
- (4) 薬剤投与とは、静脈内にアドレナリンを投与することをいう。

13 救急艇出場の状況

救急艇出場の状況は、第18-(1)表及び第18-(2)のとおりである。

第18-(1)表 高松市島しょ部の状況

区分 出場場所	令和3年		令和4年			
	出場件数	搬送人員	出場件数	対前年 増減数(件)	搬送人員	対前年 増減数(人)
女 木 町	12	12	18	6	17	5
男 木 町	17	17	24	7	22	5
庵 治 町 大 島	1	1	0	▲ 1	0	▲ 1
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合 計	30	30	42	12	39	9

※ ▲印は減少

第18-(2)表 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域の状況

区分 要請町名	令和3年		令和4年			
	出場件数	搬送人員	出場件数	対前年 増減数(件)	搬送人員	対前年 増減数(人)
土 庄 町	44	35	26	▲ 18	27	▲ 8
小 豆 島 町	1	0	4	3	4	4
直 島 町	0	0	0	0	0	0
合 計	45	35	30	▲ 15	31	▲ 4

※ ▲印は減少

14 受託町救急活動の状況

第19表 受託救急活動概要

事故種別	出 場 件 数					搬 送 人 員					
	全件数	2町指数 (%)	2町計	綾川町	三木町	全件数	2町指数 (%)	2町計	綾川町	三木町	
火 災	113	25.7	29	23	6	24	20.8	5	4	1	
自然災害	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	
水 難	19	5.3	1	1	0	14	7.1	1	1	0	
交通事故	1,699	7.8	132	68	64	1,520	8.3	126	61	65	
労働災害	130	13.8	18	14	4	136	13.2	18	14	4	
運動競技	181	7.7	14	6	8	179	7.3	13	5	8	
一般負傷	3,962	10.7	425	200	225	3,511	11.4	399	184	215	
加害事故	63	3.2	2	2	0	43	2.3	1	1	0	
自損事故	197	5.6	11	4	7	141	7.1	10	3	7	
急 病	15,995	9.5	1,514	707	807	13,431	10.0	1,346	635	711	
そ の 他	転院搬送	2,835	13.4	380	197	183	2,822	13.4	378	195	183
	医師搬送	10	80.0	8	1	7	0	0.0	0	0	0
	資器材搬送	2	100	2	0	2	0	0.0	0	0	0
	その他	57	7.0	4	3	1	7	0.0	0	0	0
合 計	25,263	10.1	2,540	1,226	1,314	21,828	10.5	2,297	1,103	1,194	

15 応急手当普及啓発活動の状況

第20表 応急手当普及啓発活動の状況

区分 年	普 通 救 命 講 習		上 級 救 命 講 習	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成30年	140	3,246	1	39
令和元年	118	2,864	1	50
令和2年	55	1,007	2	40
令和3年	48	529	2	27
令和4年	72	952	3	34

救 助 編

1 救助概要

(1) 救助隊の定義

昭和61年4月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けされ、さらにこれを受けて同年10月に救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令(昭和61年10月1日自治省令第22号)が公布(昭和62年1月1日施行)されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な救助器具を装備した消防隊を救助隊として取り扱っている。

また、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令(平成18年総務省令第42号)が平成18年3月28日に公布され、これに伴い、救助活動に関する基準の一部を改正する件(平成18年消防庁告示第3号)が同じく平成18年3月28日に公布され、それぞれ平成18年4月1日から施行されることとなったため、中核市である高松市は平成20年3月3日に高度救助隊を発隊させている。

(2) 救助隊の設置状況

- 1 救助隊数5隊: 専任2隊(北消防署高度救助隊、南消防署特別救助隊)
兼任3隊(東消防署、西消防署、三木消防署)

*「専任隊」とは、災害時において専ら救助工作車で出場し、救助活動を行う隊。
*「兼任隊」とは、災害の様態により、救助活動のほか消火活動を兼ねる隊。

- 2 救助隊員数78人 (専任34人、兼任44人)

*「専任隊員」とは、専任救助隊のうち辞令または職務命令により、専ら救助活動を行う救助隊員。
*「兼任隊員」とは、救助隊員のうち、専任救助隊員以外の救助隊員。

- 3 救助工作車Ⅲ型 2台 (省令第5条高度救助隊及び省令第4条特別救助隊)

- 4 消防ポンプ自動車 3台 (省令第3条救助隊)

2 救助出場件数及び救助人員等

令和4年中における救助出場件数は148件(前年比6.5%増)、救助活動件数123件(前年比1.7%増)、救助人員は昨年と同様の113人となっている。

第1表 救助活動の状況

区分 年	救助出場件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率 (%)	件数	対前年増減率 (%)	人員	対前年増減率 (%)
平成28年	175	—	121	—	121	—
平成29年	199	13.7	154	27.3	155	28.1
平成30年	188	▲ 5.5	149	▲ 3.2	135	▲ 12.9
令和元年	152	▲ 19.1	127	▲ 14.8	111	▲ 17.8
令和2年	146	▲ 3.9	113	▲ 11.0	102	▲ 8.1
令和3年	139	▲ 4.8	121	7.1	113	10.8
令和4年	148	6.5	123	1.7	113	0.0

▲印は減少

※参考(令和3年中)

全国の救助出動件数	99,395件
全国の救助活動件数	63,198件
全国の救助人員	59,861人
香川県の救助出動件数	398件
香川県の救助活動件数	303件
香川県の救助人員	272人

3 事故種別救助活動の状況

救助活動の状況を事故種別ごとに見ると出場件数で最も多いのは、交通事故の46件で全体の31.1%を占めている。次いでその他の事故の36件の順になっている。また、活動件数では交通事故と建物等による事故が最も多く33件で全体の26.8%を占め、次にその他の事故が31件となっている。救助人員については、交通事故によるものが最も多く37人で全体の32.7%を占めている。

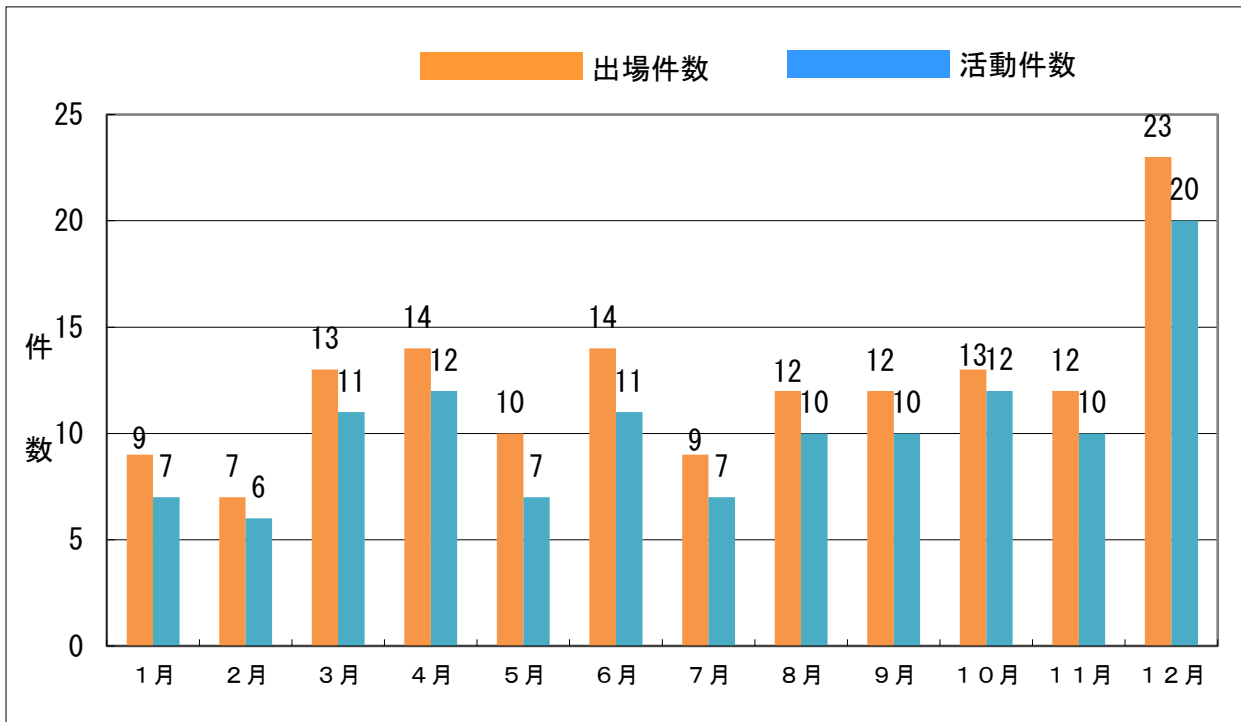
4 署所別救助活動の状況

第2表 署所別救助活動状況

事故種別 区分		火災	交通事故	水難事故	自然災害等 水害等	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び酸 欠事故	破裂事故	その他	合計
		出場 件数	合計	7	46	21	0	3	33	2	0
北署	3		2	5	0	1	18	1	0	10	40
南署	2		15	5	0	0	4	0	0	12	38
東署	1		15	8	0	0	7	1	0	8	40
西署	1		9	3	0	1	4	0	0	5	23
三木署	0		5	0	0	1	0	0	0	1	7
出場 人員	合計	292	1004	652	0	83	307	44	0	449	2831
	北署	116	35	169	0	28	195	35	0	91	669
	南署	74	366	160	0	0	47	0	0	159	806
	東署	37	320	224	0	0	44	9	0	122	756
	西署	65	196	99	0	25	21	0	0	70	476
	三木署	0	87	0	0	30	0	0	0	7	124
活動 件数	合計	7	33	17	0	1	33	1	0	31	123
	北署	3	1	4	0	0	18	0	0	10	36
	南署	2	12	4	0	0	4	0	0	11	33
	東署	1	9	6	0	0	7	1	0	5	29
	西署	1	7	3	0	0	4	0	0	4	19
	三木署	0	4	0	0	1	0	0	0	1	6
活動 人員	合計	188	391	450	0	22	246	6	0	257	1560
	北署	68	7	125	0	0	167	0	0	88	455
	南署	66	126	115	0	0	22	0	0	116	445
	東署	7	112	139	0	0	36	6	0	28	328
	西署	47	105	71	0	0	21	0	0	18	262
	三木署	0	41	0	0	22	0	0	0	7	70
救助 人員	合計	5	37	16	0	1	25	1	0	28	113
	北署	2	1	3	0	0	13	0	0	8	27
	南署	1	13	5	0	0	4	0	0	11	34
	東署	1	9	5	0	0	5	1	0	5	26
	西署	1	10	3	0	0	3	0	0	3	20
	三木署	0	4	0	0	1	0	0	0	1	6

5 月別救助活動の状況

第3図 月別救助出場の状況



第4表 月別救助活動状況

区分 月	出場件数	活動件数	出場人員	救助人員	火災	交通事故	水難事故	自然災害等 水害等	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び酸 欠事故	破裂事故	その他
1月	9	7	132	6	0	0	1	0	0	5	0	0	1
2月	7	6	226	6	2	2	1	0	0	1	0	0	0
3月	13	11	288	8	2	3	1	0	0	1	0	0	4
4月	14	12	255	9	1	3	1	0	0	2	1	0	4
5月	10	7	284	4	1	2	3	0	0	1	0	0	0
6月	14	11	282	11	1	2	2	0	0	2	0	0	4
7月	9	7	122	8	0	2	1	0	0	1	0	0	3
8月	12	10	181	10	0	2	1	0	0	5	0	0	2
9月	12	10	152	9	0	2	0	0	0	3	0	0	5
10月	13	12	249	12	0	5	1	0	1	2	0	0	3
11月	12	10	180	11	0	4	0	0	0	2	0	0	4
12月	23	20	480	19	0	6	5	0	0	8	0	0	1
合計	148	123	2831	113	7	33	17	0	1	33	1	0	31

6 曜日別救助出場件数

曜日別救助出場件数については、金曜日の28件を最高に、次いで木曜日の25件となっている。

第5表 曜日別救助出場件数

事故種別 曜日	火災	交通事故	水難事故	自然災害 水害等	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計（件）
日曜日	0	5	3	0	0	3	0	0	3	14
月曜日	3	7	3	0	1	5	0	0	5	24
火曜日	1	9	2	0	0	4	0	0	0	16
水曜日	1	5	3	0	1	5	1	0	5	21
木曜日	0	8	5	0	1	2	0	0	9	25
金曜日	1	5	3	0	0	10	1	0	8	28
土曜日	1	7	2	0	0	4	0	0	6	20
合計(件)	7	46	21	0	3	33	2	0	36	148

7 時間別救助出場件数

第6表 時間別救助出場件数

事故種別 時	火災	交通事故	水難事故	自然災害 水害等	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計（件）
0～2	0	1	2	0	0	2	0	0	1	6
2～4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
4～6	1	1	2	0	0	0	0	0	1	5
6～8	2	4	2	0	0	2	0	0	2	12
8～10	2	9	5	0	1	7	0	0	5	29
10～12	0	5	1	0	0	5	0	0	5	16
12～14	0	9	4	0	0	5	0	0	4	22
14～16	1	7	2	0	1	2	2	0	7	22
16～18	0	6	2	0	1	0	0	0	7	16
18～20	1	1	1	0	0	3	0	0	3	9
20～22	0	1	0	0	0	2	0	0	1	4
22～24	0	1	0	0	0	4	0	0	0	5
合計(件)	7	46	21	0	3	33	2	0	36	148

8 発生場所別救助出場件数

発生場所別救助出場については、屋外89件(60.1%)、屋内55件(37.2%)となっている。

第7表 発生場所別救助出場件数

事故種別 発生場所		火災		交通 事故	水 難事 故	風 水 害 等 害	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計 (件)	
		建 物	建 以 外											
屋 内	住 居	7							29	2		12	50	
	その他の屋内								2			3	5	
屋 外	道 路	高速道路 国 道		3									3	
		その他の道路		34								1	35	
	水 面	内水面				13							3	16
		外水面				8								8
	山 岳			1								7	8	
	その他の屋外			5				3	2			9	19	
地 下														
そ の 他				3								1	4	
合 計 (件)		7	0	46	21	0	3	33	2	0	36	148		

9 発生場所別救助人員

発生場所別救助人員については、屋外71人(62.8%)、屋内39人(34.5%)であり、交通事故が37人その他の事故が28人となっている。

第8表 発生場所別救助人員

事故種別 発生場所		火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 害	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計 (人)	
		物 建	建 以 外											
屋 内	住 居	5							21	1		8	35	
	その他の屋内								2			2	4	
屋 外	道 路	高速道路 国 道												
		その他の道路			29							1	30	
	水 面	内水面				11							3	14
		外水面				5								5
	山 岳			1								7	8	
	その他の屋外			5				1	2			6	14	
地 下													0	
そ の 他				2								1	3	
合 計 (人)		5	0	37	16	0	1	25	1	0	28	113		

救急救助統計

令和4年版

編集 高松市消防局消防防災課救急救助係
〒 760-8571
高松市番町一丁目8番15号
TEL 087-861-1550
FAX 087-861-2504